

6年生 社会「国風文化について学ぼう」

6年生、2学期から本格的に「ふりかえり」を活かしていく学びをしていこうと話しています。
その一端を紹介しますね。

1. ふりかえりのふりかえり

・授業がはじまって、

T「『ふりかえりの文字数が少ないから、もっと書いて！』と言われたけど、何を書けばいいのかわからない。』こんなふりかえりをしている人がいたので、何人かのふりかえりを紹介します」と言って、スプレッドシートに書かれたふりかえりを紹介します。

ふりかえり	
・自分のめあてを達成できましたか？ +がんばったこと・うまくいったこと -むずかしかったこと・悩んだこと →もっと知りたいこと・次は 今日はめあてを達成できました。 今日の学習では、〇〇〇をがんばりました。 自分にとって、～がよいとわかりました。 次は、～をがんばりたいです。	
松本さんと二人で役割を分担して学習した。何を調べるかを悩んだ。次はもっと早めにテーマ、調べるのを早くしたいと思った。うまく行ったことはふざけずに真面目に学習できたことがいいなと思いました。次も同じようにやりたいと思った。	110

★だれと学ぶか ★学習内容の決定 ★集中

飛鳥時代について調べました。友達とやって分担して調べた。一人は写真を出してくれたり調べたりしてくれた。次は、今日以上に協力してたくさん調べれたらいいなって思いました。今日の学習はめっちゃ良かったです！	100
---	-----

★だれと学ぶか ★役割分担 ★モチベーション ★自己肯定感

今日の学習でうまく行かなかったところは飛鳥時代のことを調べたけどあまりたくさんかけなかったり整理が大変でした。自分にとって良かったところは写真を載せたりしたり友達と分担活動とかできて良かったなと思いました。そして次はもっとたくさんかけたりしたらいなと思いました。	137
--	-----

★+:うまくいかなかったこと ★-:うまくいったこと ★→:つぎは

私は、今日国風文化について調べることをめあてに一人で約20分間調べ活動をしました。国風文化を調べようと思った理由は、教科書を少し読んだとき、国風文化について気になったので国風文化について調べることにしました。気になった国風文化を調べるときはクロームブックを使って調べました。また、今回は国風文化とは、と国風文化の代表的なものについて調べました。次の時間には、今回国風文化の代表的なものについて調べたとき、装束や仮名文学などが出てきたので、時間を見ながら、装束などについても読み方やどんな文化なのか調べていきたいです。自分の評価を☆にした理由は	271
--	-----

★だれと学ぶか ★時間配分 ★課題設定の理由 ★情報収集方法 ★学習内容 ★自己評価
★次回気を付けること

うん、良い視点でふりかえりをしている子が何人かいます。このふりかえりを全体で価値づけることで、ほかの子も良い刺激になるはずです。ナイスふりかえりのふりかえりです！！

ふりかえりのふりかえりの方法を自動化できないかAI活用を考えてみたいと思います。

(いま、Google Gemini を子どもたちに解放できるか市教委のチームに相談しています。今後の動きに注目です。)

2. 課題設定

「国風文化について」

テーマというか課題設定がかなり大きいのですが、子どもたちは、このテーマの中で「年中行事」や「貴族の文化」「衣服」「紫式部」「国風文化そのものを調べて特徴」など、それぞれ決めて調べ学習をしていました。

3. 図書室で情報検索

・司書の伊藤さんに相談

C「いま、歴史の勉強で国風文化のことを勉強していて・・・。」

伊藤さん「え・・・？」

吉水「〇〇時代とか、勉強しているところのキーワードを行ってみたら？」

C「平安時代です。」

伊藤さん「あー！」(歴史のその時代に関連する棚へ案内してくださる)



何冊か関連する本を見つけて戻っていきました。

図書の時間だけでなく、こうした教科の時間に閲覧できると、学びの幅が広がりますね！ありがたい！

4. 情報収集

6年生の主な情報収集手段を見ました。

・教科書・・・10人

・本やマンガ・・・5人

・ネット・・・14人

先生が「教科書をベースにして調べよう」という声掛けもあって、思いのほか教科書で調べている人が多かったです。

ただ、ノートを見ると、文章を見て丸写しが多い。すべてではなくても、それにかかわる段落をそのまま写す。まずは第1段階目ではよしとして、やはり指導が必要そうです。

たとえば、私たちはもうできて当たり前だと思っていますが、子どもたちは案外教科書を読めていません。一度流し見して、意味や文脈を理解していないことが多いのです。

ですから、今日はターゲットを一人に絞って、いっしょに教科書を読み、大事な部分に線を引いたり、丸で囲んだり、むずかしい言葉の意味を横に書いたり、といった一人でできてほしいスキルを横につきながら、ちょっと周りの子どもたちにも聞こえよがしに取り組んでみました。

改めて思ったことは、「教科書ってわかりやすい！！」でした。



情報収集と言うと、「まずはネット！」のような子がありますが、テレビ局の情報収集を担当するプロの方でも、まずはキーワードの整理に30分かけるそうです。マインドマップや表などにまとめてから、情報収集しないと、調べたことが絞られていないので、行ったり来たりで結局時間だけが過ぎてしまうとおっしゃっていました。

「何を」という課題

「何で」という情報ツール

「どのように」という整理・まとめ方

今回は、子どもの実態に合わせて、文章でつらつら書かず、めあてに対して、箇条書きで書くように指示してみました。

①
はじめは、私の説明通りに書いていたのですが、次第に自分の言葉で書くようになり、吸収力がすごいなあ！やるなあ！！と、うれしくなりました。

5. 整理・分析・まとめ・表現

- ・コピペ
- ・丸写し
- ・意味が分かっていない

このあたりの課題に、

「いきなり丸写しはダメ！」

「自分で考えなさい！」

「自分の言葉で！」

という指導は入りにくいなあといった経験があります。

まずは、「コピペ、丸写しOK」

次に、「言葉の意味が分からない部分を調べて、横にメモしよう！」

さらに、「関連する調べてことを吹き出しなどを使って、補足したり、深めたりしよう！」

っていうのもアリかなあと思いますが、どうでしょうか。